

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名： 小規模多機能ホーム ハッピーハウス

施設種類： 小規模多機能型居宅介護

日時： 令和 7 年 6 月 12 日(木) 午前 10 時 30 分～ 11 時 30 分

会場： 出雲市東部健康交流館 うるおいの郷

出席者
(人数)

利用者、家族	人	高齢者あんしん支援 センター職員	1 人
地域住民の代表	4 人	出雲市職員	1 人
その他 (施設役員、管理者)			3 人

(議題)

1. 登録実績と利用状況
2. 職員体制
3. 行事・レクリエーション報告
4. その他

(報告事項)

1. 登録実績と利用状況について
年齢、性別、介護度、家族状況、生活圏、月毎にサービス
利用状況を報告。状態の変化に伴う援助内容の報告。
【別紙、サービス提供状況報告書を配布】
2. 職員体制
職員の体制変更なし
3. 行事・レクリエーション報告
お便り配布。5 月と 6 月一部行事について説明しました。
5 月開催のボーリング大会では座った状態からピンを狙って
ボールを投げて頂きました。勝ちも負けもなかったですが、
好成績を目指して真剣に投げられて、ストライクも出ました。
6 月には非常災害訓練を実施しました。火災想定した訓練に
加えて、施設外避難場所への経路確認を行っています。

4. その他

【地域から】

- * 制度や施設へ繋げていく苦労もあるが以前に、一人暮らしや情報を持たない、協力できる家族が近くにいないなど、何か起きた場合に相談できる所を知らない、介護予備軍に対する周りのサポート体制が地域の中で機能していると安心できる。
- * 何かの時には思い浮かぶような、連絡先、電話番号などを伝え続ける。啓発を続ける。

【包括から】

- * 介護予防、介護認定を受ける前の高齢者の相談窓口としてはあんしん支援センターを広くアピールしている。制度利用の壁もそんなになくなり社会の認知度も上がってきては居る。最近は様々な制度を事前に調べてから相談に見える方もあるが情報の無い方も多く地域の中でもっと繋がりが広がる様に相談援助や啓発を重ね、活動をしていく。

【行政から】

- * 介護保険制度も令和9年度より第10期となり過去5年間の感染症による空白の期間に失った繋がりと関係性を取り戻す支援に向かう時期かと思う。独居や身寄りのない方などへの支援も行う方針で、しっかりと地域連携を行っていく。